

成果報告書

(地域文化倶楽部創設支援事業)

プレイキッズシアター

所在地	東京都練馬区	設立年	2018年
運営主体	プレイキッズシアター		
事業目標	子どもたちが舞台芸術活動として演劇を希望しても、学校のクラブ活動の中で、指導する側の教師のスキルの問題や働き方改革などにより実施が難しい現状がある。複数の小学校と地域、行政そして専門家がチームとしてタッグを組み、公募で集まった子どもたちが自分達で舞台作品を創り上げ、地域で質の高い公演を行い、地域の人たちに鑑賞してもらう機会を創り上げる。		
きっかけ	小金井市PTA連合会会長斎藤瞳氏、軽井沢風越学園教諭(元小金井第三小学校教諭)、プレイキッズシアター代表むらまつひろこが、かねてより子どもたちが芸術文化活動を体験し、その環境を整える取組みを模索していたが、経済的な問題を解決できずにいたところ、地域文化倶楽部(仮称)の助成に申請をし、採択をいただいた。申請時に、小金井市教育長大熊雅士氏にも相談に行き、小金井市教育委員会のGIGAスクール構想の中に、「子どもたちの創造的な体験型の文化活動」が織り込まれていたこともあり、行政・地域・学校・専門家とタッグを組み、「こがねい子ども創造舞台プロジェクト」を立ち上げることとなった。		
団体・組織等の連携			
活動場所	<ul style="list-style-type: none"> ◆小金井市第一小学校ミーティングルーム ◆小金井市もえぎホール ◆宮地楽器ホール小ホール 		
活動概要	<p>小金井市内公立小学校9校に応募チラシを配布 体験会に集まった子ども 47名 (キャンセル待ち6名) 本申し込み 36名 * 定員20名に対して、36名の申し込みがあったため、演劇の舞台を体験する「創作班」と、応援CMをつくることを体験する「CM班」とに分ける。 活動人数: 創作班22名 ・CM班5名 * 定員がある理由: ① 予算不足(講師の人数が確保できない。また会場を借りる場合の予算) ② 部屋とホールの定員 (新型コロナウイルスにより、活動人数に制限があるため) 活動回数: 体験会2回 ワークショップ10回 舞台公演2回 (合計14回活動)</p> <p>(2021年11月23日(祝)・12月12日(日)2022年1月15日(土)23日(日) 30日(日) 2月3日(木) 5日(土)12日(土) 2月13日(日) 19日(土) 20日(日) 21日(月) 舞台公演 22日(火)・2月23日(水)</p>		

○本事業による成果

従来の活動の成果のみではなく、本事業を実施したことにより得られた成果について記載すること。(数値やグラフで示すものがあれば望ましい)

専門家を招聘することによって、学校だけでは体験できない舞台創作体験活動となった。また行政・地域サポーター・学校とタッグを組み、運営するプロジェクトとして事業を実施。

さらに地域サイドから、このプロジェクトを支えるために、新しい団体「小金井地域部活動文化スポーツ支援機構」「小金井表現倶楽部」の2つが設立された。また、台本のある演劇活動ではなく、子ども達がゼロからお話をつくる創作舞台プログラムを実施。文化芸術活動に子どもたちが取り組む意義を地域・学校・行政と共有できた場ともなった。

参加の子どもたちのアンケートには、「学習発表会とは違って、自分たちで考えて創るのが面白かった」「舞台ってみんなでつくって面白いって思った」などが多く書かれており、このことから学校の活動では味わえない舞台芸術体験になっていることが伺える。保護者からは「まさかこんなに感動するものができるなんて思わなかった」「それぞれの個性を引っ張り出してもらえて感謝。貴重な体験だった」など、文化芸術活動を、子ども達だけではなく、保護者・地域の方々も共有することができたのではないかと。

舞台を終えた子どもたち19名中18名が、また舞台を絶対やりたいという回答を得られたことから、プロジェクトとして成果があったと言える。

今回のプロジェクトにおいて、文化芸術活動が、子ども達の学びにとってどのような効果があるのかを、豊橋創造大学の加藤教授の協力をいただき、行った。その報告書は別紙で添付する。

○児童・生徒への指導に関する工夫

指導を行う上で独自で工夫していることについて記載すること。

「こがねい子ども創作舞台プロジェクト」は、子どもが主体的に文化芸術活動を行うために、台本のない舞台創作プログラムを取り入れている。子ども達のアンケートにも「学校とは全く違う活動だった」という声も多く、アーティストたちの子どもたちとの取組みは、教員とは、違うものであったと考えられる。

大人が主導の活動ではなく、子ども達から出てくる発想・アイデア・そしてモチベーションを大切にすることを、講師一同が徹底して取り組んだ。また心理的な安心安全な場所の確保、否定・批判されない環境。答えを子どもたち自らが出していくマインドなど指導を工夫した。その結果子ども達は、活動の回を増すごとに、表情が変わり、表現にも変化が見られた。また、表現することを極めたい子どもに対しては、演出的なアドバイスをを行い、表現が向上するよう導いた。学校では時間の制約などで難しいとされる、子ども一人一人の個性を尊重する活動とした。その専門家たちの導きによって、子ども達は自己を表現し、学校では見せない子どもたちの表情が舞台上で表現されることに繋がり、専門家が関わり、学校外で活動する良さが見えた。また、地域スタッフも子ども達との活動に参加し指導を行っていくための研修を行った。

○運営上の工夫

運営上、工夫している点を記載する。

「地域文化倶楽部(仮称)としてのこがねい子ども創作舞台プロジェクト」が継続していくために、初年度は、継続可能な組織づくりを試みた。運営メンバーは、大熊雅士(小金井市教育委員会教育長)・加藤知佳子(豊橋創造大学教授)・村上聡恵(風越学園教諭)・前田薫平・齋藤瞳(小金井地域部活動文化スポーツ支援機構)・又吉考(小金井三小おやじの会)・むらまつひろこ(プレイキッズシアター)。プロジェクトを進めていくうえで必要な決定事項は、この運営メンバーと相談をしながら、決定していく工夫を行った。

さらに地域スタッフたちに、現場に足を運んでもらうことを促したことで、子どもたちが文化芸術活動に取り組むことで変容していく様を間近に感じ、結果、地域に地域文化倶楽部(仮称)を根付かせていきたいという強い思いが芽生えていった。

また教員の働き方改革を行い、学校外で子どもたちが活動をしていくためには、地域のサポートが不可欠であると感じた地域サポーターが、小金井地域部活動文化スポーツ支援機構と小金井表現倶楽部を立ち上げた。また地域に子どもたちに文化芸術活動が根ざしていくためには、ファンを作ることが大切だと考え、参加の保護者には丁寧に活動報告を行うとともに、地域へ向けた発信を大切に。Facebook でページを立ち上げ随時活動報告を行った。

また地域の人材バンクを活用する取組みも行った。活動中の活動記録や活動内容の記事。子ども達の活動に興味のある、市内中学校の演劇部の指導員や、音響専門スタッフ。など、地域の方が多数、プロジェクトに参加していたことも特徴として挙げられる。

○継続的な運営に関する課題・展望

活動場所、指導者、活動経費、教育機関や地域等との連携等、様々な観点からの課題と展望を記載する。

課題と展望に関して、多数あるため、箇条書きで記す。

【課題】

- ・予算の関係で、応募してきた全員の子どもを受け入れることができなかった点。
- ・市内小学校の部屋を活動場所として利用。しかし小学校内でクラスターが発生したことで、利用不可となり、別会場を急遽探す必要となり会場変更を余儀なくされるという小学校の都合に左右される点。
- ・地域の人材バンクが機能し、多くの方があらゆる分野で参加。その方々の参加度合いによっては、有償ボランティアである必要があるのではないかとという点。
- ・小金井市や小金井市教育委員会から後援名義をいただくことができたが、補助金制度などが制度としてないため、資金的援助を受けられない点
- ・参加者から会費を徴収することにより、教育委員会からの後援などが難しくなる現状があり、今年度は参加費無料で行ったが、経済的には厳しい点。また誰でも参加したい子どもが参加できるプロジェクトで在りたいと思うが、参加費が発生することで、参加できる子どもが限定されてしまう点。
- ・地域団体が借りた活動場所は、減免措置があるが、その場合は領収書のあて名が、地域団体となる点。

【展望】

- ・専門家が入ることで、地域の人材バンクの技術的向上を図ることを行い、地域の人材バンクの活用を促す
- ・小金井市内の商工会議所と連携をとり、活動場所の提供や、資金援助などができないか模索する。
- ・制作業務を地域2団体に少しずつ移行し、プレイキッズシアターがサポートをしながら移行していく準備を進める。
- ・中学の演劇部との連携をとるために、三小おやじの会が中学校で行っている放課後カフェと連携をとる。
- ・芸術系・幼児教育・教育系大学との連携をとるために、地域サイドの受け入れ態勢を整え組織化させていく。
(令和3年度は新型コロナウイルスの影響で、日本大学芸術学部・成蹊大学と連携する予定が叶わなかった)
- ・小金井市教育委員会と連携をし学校の先生たちの業務削減に直接なるような方策を検討する。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

上記の課題をどのように解決し取り組んでいくのか、方針や計画を記載する。

こがねい子ども創作舞台プロジェクトの取組みの初年度は、関わった人数、子ども・保護者の反応などからみても、大きな成果をもたらしたと考えられる。行政・地域・子どもたち(保護者)・学校・専門家がタッグを組むことで、地域に地域文化倶楽部(仮称)が設立できる可能性を大いに秘めている地域の一つではないかと確信できる1年目の取組みであった。段階的な移行として現在計画していることは、令和4年度は、主催をプレイキッズシアターで行いつつ、地域団体にも制作的なことを任せる比重を増やしていくことが考えられる。制作的な面の連携をさらに充実させ、令和5年の3年目の活動に関しては、その制作的な比重がさらに地域団体が大きくなることを目指し地域団体とも調整する。

行政にも、地域団体をサポートしていく連携と活動への理解を引き続き働きかけていく。

小金井地域部活動文化スポーツ支援機構と小金井表現倶楽部の役割が、地域文化倶楽部(仮称)が機能していくために、人員の確保や資金の面、専門的な制作業務など、プレイキッズシアターとしてもサポートしていく。しかし、地域団体は、思いがあっても、専門家たちに依頼し活動を継続していくためには、資金が必要である。この資金の面が非常に課題である。また、文化芸術活動は、専門性の高い制作・事務内容でもあり、地域団体がそれを担い、地域文化倶楽部(仮称)として機能していくためには、経験と時間が必要である。令和3年の地域文化倶楽部(仮称)の助成を受け、プロジェクト運営メンバーの目標として、3か年で、地域団体が主体となって運営していく計画を立ててはいるが、新型コロナウイルスで、活動の範囲が狭められていることや、学校の教員たちの業務が増大していることなどから、3か年計画がどの程度進むかは未定である。長期的な展望で、活動が持続できるように資金的な不安を減らし取り組んでいくことが望まれる

※上記4点の記載の中に活動の画像を挿入してもよい。

※『[地域移行\(展開\)を進める際のポイントチェックリスト](#)』を参照すること。

参加者 (予定人数)	対象:小学3年生～中学生 定員:20名～25名
募集方法	小金井市内公立小学校中学校へチラシ配布・小金井市内ポスター掲示
指導者	専門家 4名 アシスタント1名 地域スタッフ 2名程度 教員2名～4名
移動手段	保護者による送迎
活動費用	活動費用検討中。15回の活動で10000円の活動日を徴収する予定。

スケジュール	4月～ 打合せ会議 後援申請・活動会場の予約開始 6月 チラシ作成 8月末 チラシ配布 9月 募集開始 13回活動+1日リハーサル+1日本番(2回公演)予定 10月2日(日) 16日(日) 30日(日) 11月6日(日)13日(日) 27日(日) 12月4日(日)10日(土)11日(日) 17日(土)18日(日) 25日(日)26日(月)27日(火)28日(水)
保険加入等	あいおいニッセイ同和生命

※文化庁ホームページ:地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた検討会議 [事例集](#)を参照

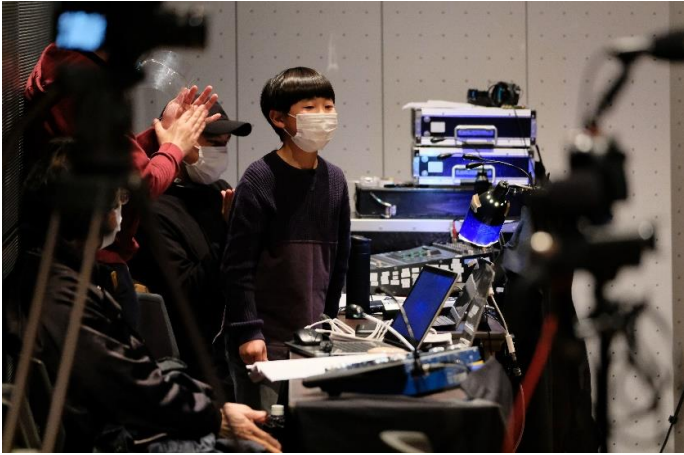
掲載URL

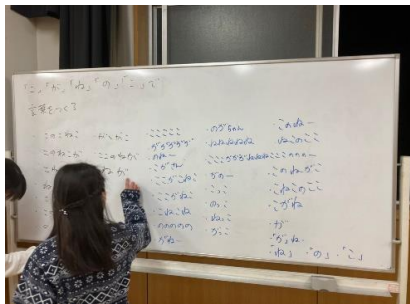
(https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/pdf/92801101_09.pdf)

※それぞれの項目に掲載しているのはあくまで例示ですので、掲載しているもの以外の観点等で自由に記載していただいて結構です。ただし、どこかの項目に学校の働き改革(教員の負担軽減)を踏まえた観点の記述を必ず入れていただきますようお願いいたします。(本事業の最大の目的であるため)

【活動の様子 (写真添付)】









お話をつくって、舞台上で発表!
人前に出るのが苦手。新しいことにチャレンジしたい。
みんなみんな、集まれ。

こがねい
子ども創作舞台プロジェクト

参加者募集

参加費 **無料**
定員 **20名**
【対象】小学3年生～小学5年生

体験会
① 2021.11.23 (祝) 14時～16時
② 2021.12.12 (日) 10時～12時
(小金井第一小学校 ミーティングルーム)

プロジェクト開始
2022.1.15 (土) (全13回) スタート!
お申し込みの詳細は裏面にて
※申し込みが定員を超えた場合は抽選となります。

舞台発表
小金井 宮地楽器ホール 小ホール

応募CMをつくっちゃおう!
CM制作チームを同時募集します!
活動期間は4日限。
「子ども創作舞台プロジェクト」を応援するCMを作ります。
(小学3～5年生～6年生) 定員5名です。
※応募は2022年2月15日まで。

主催: プレイキッズシアター
後援: 小金井市/小金井市教育委員会
協力: 小金井地域部活動文化スポーツ支援機構/三小おやじの会

【助成事業】文化庁 令和3年度地域部活動推進事業及び地域文化倶楽部(仮称) 創設支援採択事業

スケジュール

体験会
2021年
11月23日(祝) 14:00～16:00 一小ミーティングルーム
12月12日(日) 10:00～12:00 一小ミーティングルーム

子ども創作舞台プロジェクト
2022年
1月15日(土) 14:00～17:00 観劇中
1月23日(日) 14:00～17:00 一小ミーティングルーム
1月27日(木) 17:30～19:30 一小ミーティングルーム
1月30日(日) 14:00～17:00 一小ミーティングルーム
2月 3日(水) 17:30～19:30 一小ミーティングルーム
2月 5日(土) 09:30～12:00 宮地楽器ホール小ホール
2月12日(土) 14:00～17:00 観劇中
2月13日(日) 14:00～17:00 一小ミーティングルーム
2月19日(土) 09:30～12:00 宮地楽器ホール小ホール
2月20日(日) 09:30～12:00 宮地楽器ホール小ホール
2月21日(月) 16:00～20:00 宮地楽器ホール小ホール(舞台入りホール)

応援CM制作チーム
1月15日(土) 14:00～16:00 観劇中
1月30日(日) 14:00～16:00 一小・和室
2月 5日(土) 09:30～12:00 宮地楽器ホール練習室1
2月12日(土) 14:00～16:00 観劇中

舞台発表
2月22日(火) 18:00～20:00 18:30開演
2月23日(祝) 09:00～12:00 09:45開演
13:30～15:00 観劇入り(一小ミーティングルーム)

※会場・時間により変更となる場合があります。

お申し込み
※二次元バーコードをご利用下さい。

お問い合わせ
体験会 申込みフォーム <http://ws.formzu.net/dist/510484104/>
本申込みフォーム <http://ws.formzu.net/dist/585327903/>
playkidstheater@gmail.com

子どもたちの「やってみたい」想いを舞台で!

【小金井子ども創作舞台プロジェクト】は、子どもたちが自分自身で観望できる舞台を鑑賞し、舞台を作り上げるまでのプロセスを体験した、誰でもチャレンジできる活動です。子どもの「観望をやってみたい!」「とにかく観望をやってみたい!」想いを専門家がサポートし、小金井に子どもたちが思いのまま自由に観望する場」が果たされます。観望したことを発表します。観望者と比べて、観望したりする、個性を活かしながら観望をつくり、仲間たちと共に世界に一つだけの舞台作品を作り上げ、公開発表を行います。この際、各々が観望教育に取り組んでいる専門家が、小金井に集結し、中心にいるのは「子どもたち」。

専門家はだけでなく、学校の先生、保護者のみなさん、そして地域の方々も手を繋ぎ、小金井らしい創作舞台にチャレンジです。

小金井子ども創作舞台プロジェクト 運営メンバー
大黒 雅士 (小金井市教育委員会教育長)・加藤知佳子 (豊橋創造大学 理学療法科教授)・村上 聖恵 (豊橋創造大学 理学療法科教授)
前田 薫平/齋藤 穂 (小金井地域部活動文化スポーツ支援機構)・大西 孝 (小金井三小おやじの会)・むらまつひろこ (プレイキッズシアター代表)

企画・制作 **プレイキッズシアター PLAY KIDS Theater**

お話をつくって、舞台上で発表!
人前に出るのが苦手。新しいことにチャレンジしたい。
みんなみんな、集まれ。

こがねい
子ども創作舞台プロジェクト

今年のタイトルは...

「ヨガネノコ」!

応募券
おとな 1,000円
こども 500円

事前申込制

会場
小金井 宮地楽器ホール 小ホール

日時
各回とも開場は30分前です。
内容はおなじものでキャストの変更もありません。

1st 2022.02.22 (火) 夜の部 18:30 開演
2nd 2022.02.23 (祝) 午前の部 09:45 開演

※観劇には事前のお申し込みが必要です。新型コロナウイルス感染症対策として席数制限がございますのでお申し込みは早めにお願いたします。

主催: **プレイキッズシアター**
後援: 小金井市/小金井市教育委員会
協力: 小金井地域部活動文化スポーツ支援機構/三小おやじの会
PLAY KIDS Theater

【助成事業】文化庁 令和3年度地域部活動推進事業及び地域文化倶楽部(仮称) 創設支援採択事業

しゅつえん

中川かやこ
ゆめほ
真 恵麻
ナル TAKAO
はる
宮下まほ
まつりく
高ピコ
めぐみ
はがち
Tatsuhiko
Hitomi
さとし
智咲
Momo
Isla
YUSA
Junna

CM班
こう
るい
KOA
吉岡まほ
Seiu-Karin
(出演者名は順不同です)

※表紙の二次元バーコードをご利用いただくか以下のURLをご利用ください。
<https://ws.formzu.net/dist/59084106/>

お問い合わせはこちら
koganei.kodomosousakubutai@gmail.com

【観劇】
鈴木光介 (時々自動)
【演出・創作チーム】
むらまつひろこ (創作舞台演出家&プレイキッズシアター代表)
大川美奈子 (ダンス振付師)
うすきようじ (俳優・演出家)
中澤聖子 (MinaWatoto 代表)
Cユツヤ (身体表現劇作家)
西脇さやか (養育教育フアンリレーター)

【制作協力】
くまG・もっさん・むーちゃん
【舞台スタッフ】
撮影: 富垣吾宏
美術: 空堀工務タジブクシマ
照明: 飯間明
音響: 下村界・小林浩・佐野哲也
舞台監督: 竹内義人
【衣装協力】
辨天堂デザインワークス
【音響協力】
松本どか
【MC・音響協力】
加藤知佳子 (豊橋創造大学理学療法科教授)
【協力】
小金井三小おやじの会
小金井地域部活動文化スポーツ支援機構
【地域連携コーディネート】
齋藤穂・前田薫平
【制作】
重富泰代・西脇さやか
【後援】
小金井市/小金井市教育委員会
【主催】
プレイキッズシアター

子どもたちによりよい文化芸術に触れる機会を。

子どもたちが舞台芸術活動として演劇を希望しても、学校のクラブ活動で行うことはさまざまな事情があり、実施することがむずかしいものになっています。そのような環境からこのプロジェクトは立ち上げられました。創作舞台の専門家集団であるプレイキッズシアターさんと共に子どもたちが一つの舞台を作り上げていきます。そして、小金井ではじめて「ひとのかたち」が出来るようになります。中心にいるのは「子どもたち」です。そして専門家のみなさん、学校の先生たち、保護者のみなさん、地域のみなさん。さまざまな人たちがお力を貸していただきました。ありがとうございます。ぜひどうぞご参見ください。コロナ禍のなかでも子どもたちは元気です。楽しんでいただければ幸いです。

こがねい子ども創作舞台運営会議 メンバー
大黒 雅士 (小金井市教育長)・加藤知佳子 (豊橋創造大学理学療法科教授)・村上 聖恵 (豊橋創造大学理学療法科教授)
前田 薫平/齋藤 穂 (小金井地域部活動文化スポーツ支援機構)・むらまつひろこ (プレイキッズシアター代表)

企画・制作 **プレイキッズシアター PLAY KIDS Theater**

この活動では、団体公開文化庁への報告のため、写真撮影を行います。撮影した写真や映像等は、広報にHPやSNS、刊行物等に掲載することがあります。なお、文化庁へ報告用に提出した写真は、官公庁が定める規格に基づき、助成事業実施以外の目的には使用されません。